

審議会等の会議結果報告

| | |
|------------|--|
| 1 会議名 | 第3回香良洲地区地域審議会 |
| 2 開催日時 | 平成24年3月9日(金) 午後1時30分から午後2時35分 |
| 3 開催場所 | 香良洲公民館 2階 研修室 |
| 4 出席した者の氏名 | (審議会委員) 松島 昇 市川富士雄 太田正之 奥野ひとみ 木下美佐子 長谷川和男 藤川雅幸 (事務局) 総合支所長 後藤忠久 地域支援員 倉田博美 副支所長兼地域振興課長 北山俊一 市民福祉課長 神田久代 産業振興・環境担当副参事 池山要一 危機管理担当副参事 藤川龍作 調整教育総務担当主幹 清水和継 調整総務担当主幹 中村京文 地域振興担当主幹 工藤由美 地域振興担当副主幹 伊藤哲也 |
| 5 内容 | 1 香良洲地区地域審議会意見書に対する回答書について 2 地域かがやきプログラム事業について 3 その他 |
| 6 公開又は非公開 | 公開 |
| 7 傍聴者の数 | 1人 |
| 8 担当 | 香良洲総合支所 地域振興課 地域振興担当 電話番号 059-292-4374 E-mail292-4374@city.tsu.lg.jp |

議事の内容 下記のとおり

事務局 それでは定刻になりましたので、始めさせていただきます。本日は、委員の皆様方にはご多用の中ご出席いただきまして誠に有難うございます。

只今から平成23年度第3回香良洲地区地域審議会を開催させていただきます。

それでは、開催に先立ちまして会長さんよりご挨拶をいただきたいと存じます。

松島議長 あらためましてこんにちは。お足もとの悪い中ご苦勞さまでございます。早いもので昨年の3.11から一年が過ぎようとしております。審議会の方でも災害があつてからは震災、防災、減災に対する話し合いを多めにさせていただいております。また同時に香良洲町内の行事等でいろんなご意見をきかせていただいております。今日は事項書にありますように前回の地域審議会の意見書に対する回答書、津市かがやきプログラムという議題がございますので皆様方のご協力のもとスムーズに進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

事務局 ありがとうございます。続きまして香良洲総合支所長よりご挨拶を申しあげます。

支所長 あらためまして皆さんこんにちは。早いもので今年度も年度末を迎えまして3回目の会議を開催させていただくわけですが、公私ご多用の中、ご出席いただきましたこと、厚くお礼申し上げたいと思います。また、22年度から23年度、2年間審議会の委員として当地区に関しましてのご意見、ご提言をいただきましたことを重ねてお礼申し上げたいと思います。どうもありがとうございます。来年は新たな委員さんで審議会の方は続けさせていただきます。今後とも審議会にご協力を頂きたいと思ひます。本日の議題でもあり会長さんのお話にもありましたように、先般の津市へのご提言ご意見についての結果についてご説明をさせて頂きました、地域かがやきプログラムにつきましても今年度の状況、来年度の取組というものをご説明させて頂きたいと思ひます。ご意見ご提言等ありましたらよろしくお願ひします。

事務局 それではここで、出席者の報告をさせていただきます。委員10名中出席者7名で、地域審議会の設置に関する協議第9条の第4項によります2分の1以上の出席がございますので、会議を開催させていただきたいと思ひます。

本日の議題につきましては、まず議題第1の香良洲地区地域審議会の意見書に対する回答について、議題2の地域かがやきプログラム事業についてでございます。

それでは、さっそくですが、地域審議会の設置に関する協議の規定によりまして、会長が議長になっていただきますので、議事の進行をよろしくお願ひい

たします。会議は公開で行うものとなっており、会議の議事録は津市のホームページ上で公開されますのでご了承ください。なお、本日の傍聴者は1名でございます。それでは、会長さん議長席の方へお願いいたします。

松島議長

只今から、第3回香良洲地区地域審議会を開催します。本日の会議録の署名委員を木下美佐子さんと藤川雅幸さん両委員を指名致します。よろしくお願いたします。

それでは議事に入っていきたいと思ひます。会議は全文記録となりますので、ご発言につきましては、挙手をしていただき、明瞭なご発言をいただきますとともに、議事運営につきましては、皆様方のご協力を賜りますよう、お願いいたします。本日の議題、事項書3の議題第1香良洲地区地域審議会の意見書に対する回答について、事務局説明をお願いします。

地域振興

課長

地域振興課長の北山です。第2回香良洲地区地域審議会におきまして、審議委員の皆さまからいろいろご意見をいただきました。これをまとめさせていただきました。平成23年12月12日付けで提出をさせていただきました。その回答が本日の資料としてお手元に配布させていただいております。平成24年2月13日付けで回答をいただいております。内容につきましては、1番、戸別受信機の設置については、同報系防災行政無線の運用開始後、屋外拡声子局の放送が聞こえにくいとの御意見を数々頂いており、当該システムの運用に係る大きな課題と捉えているところです。この課題に対応するため、屋外拡声子局からの放送を補完するものとして、メール及びファクス配信サービス、電話応答システム等の活用をお願いしていますが、高齢者の方等、これらの補完システムの利用が困難な方がいらっしゃることも認識しています。現在、個々の状況を踏まえ、情報伝達状況の改善に係る対応策を検討しており、手法や予算措置等の準備を整え次第、順次対応してまいります。という回答でございました。2番目といたしまして、避難所の通信手段の確保について、本市では、災害時における迅速、正確な情報収集、伝達体制の確立を目的として平成24年度から25年度にかけてデジタル移動系防災行政無線の整備を予定しています。当該整備においては、大規模災害時等における各拠点との通信手段を確保するため、市庁舎等の災害対策拠点となる施設の他、本市が指定する避難所（香良洲地域は7箇所）へ無線通信機器を配置する方針です。なお、一時避難場所として位置付けている施設への無線通信機器の常設は予定していませんが、各地域の拠点となる総合支所に配置する機器を状況に応じて使用する等、運用面でカバーを行うことで対応していくことを考えていますので、御理解と御協力を賜りま

すようよろしくお願いいたします。という内容の回答書を頂きました。

松島議長

これは前回皆さんで話し合いをして頂いた中で、香良洲町の時にあった個別の受信機を付けるとなると莫大な費用がかかるという話もでました。いろいろ前向きな回答を頂いておりますことから、皆さんのご要望も踏まえていろいろなご意見を出して頂いたらと思います。

木下委員

木下でございます。1番のほうの現在対応を検討しておりということでもまだ具体策がないようなので、出てくることによって期待して良いということなのかなと思うのですが、私は後ほど自分のところのユニバーサルデザインの報告が皆さんのお手もとに配布させて頂いておりますが、我々は市に向かって文句ばかり言ってもいけないと反省させていただいております。防災無線について各方面に聞きますと予算とか現実これは要望しても無理であるとか、時代のニーズを考えていきますとメールとかファックスも大事だと思ひまして、ただ今まで広報にいろいろな情報が載ってきているもの見ない者が悪いといわれてしまえばそれまでなんですが、載せてくださっているのですが、高齢の方とかそういうことに疎い方がみえるのも事実で、今回担当の方からファックスの申込用紙、情報手段の連絡先とかコピーしていただいて再度私が関わっている方にご説明かたがた配布させていただいております。中にはそうやってやるんだと慌てて電話番号を書いたりいろいろやってくださいました。実際防災無線が鳴っていないときに自分で電話をかけてみたり、何番を押して今はなにもありませんということを確認したり、こういったことを高齢者にはケアしてあげないと行動に繋がらないということがわかりました。知っている方はある程度いますが、再三広報でお知らせがあったにかかわらず行動には結び付いていない。少し大変だけれど、審議会に参加していただいている自治会さんとかいろいろな方々が人の責任ではなくてやれることで周り的高齢者とかには手とり足とり時には迷惑がられるかもしれませんが。実際ファックスの無い場合には電話でできる、メールを3月11日から子どもさんから持たされたという方もいます。今回メールをQRコードでやるということがわかってなくて、Eメールが返ってきているのにもかかわらずメールの見方を教えられていないということがありまして、せっかく持っけてもできていないということがわかりまして、わかっている範囲内でいいおせっかいをさせて頂き喜んで頂けたということですが、わからない事に対しましては、担当課へ行けば教えてもらえますよね。そういうことで私たちも受け身の姿勢ではなくて弱者といわれる方に対してはやっていかななくてはならないと思ひました。

松島議長

木下さんから行政サイドからもいろいろな事をやっていただいておりますが、

地域住民のサービスの為に今一步踏み込んでいただいております。どうかという内容でありました。そのことに対して事務局からご説明があればお願いします。

危機管理
担当副参
事 危機管理担当の藤川です。只今の木下委員さんのご意見でおっしゃるとおり
高齢者の方はファックスもないし携帯も持っていないという方がみえます。
昨年8月15日エリアメールでNTTが津市の防災本部が出した事を配信す
るサービスを開始していただいたところですが、この3月1日からau、ソフ
トバンク2社も加わり、携帯からの緊急防災メールを配信することになりました
ので一歩進んだことだと思います。が、先ほどのご意見のように高齢者の方
は使いきれないではないかということですが、私たちもそうですが機械に疎い
者が情報の入った個人の携帯をさわるといことは差し控える様にといいこと
で、ご自身の携帯の販売元へお問い合わせくださいという指導はさせていただ
いております。

松島議長 木下委員がおっしゃられたのは、具体的な話で携帯ならこの番号を押せばよ
ろしいよというものを、災害弱者や独居老人に携帯をさわるといではなく、高
齢者の方にもわかりやすいような方法をとれませんかという話に繋がっていくの
ではということだと思います。それはすでに電話会社がやっていることですが、
それが理解できない方へのサポートをする。それが一歩踏み込んだサービスだ
と思うのですが。

危機管理
担当副参
事 どこまで立ち入れるのかということはこの場での回答になるかどうかわかり
ませんが極力努力をさせていただきます。会合等のなかでそういう要望があれば
そこへ出席をさせていただいて、扱い方を説明させていただく方向で考えて
いきたいと思っております。

松島議長 はい、ありがとうございます。ほかにご質問がなければ次へ進めさせて頂
きますが。

木下委員 検討している中に、防災無線は大変お金がかかることなのですが最終手段と
してファックスも電話も無理だという場合にエリアメールや防災無線を受ける
ことができる程度の簡単な携帯を貸与するというのも手段の1つだと思います。
検討をよろしくお願いいたします。

松島議長 只今の意見に関してどうですか。

危機管理
担当副参
事 携帯を貸与するという御意見ですが。

松島議長 携帯に限ったことではないです。たとえばということですが。

危機管理
担当副参
事 個別受信機も同じことですね。回答書の中にある手法や予算措置が中に含
まれていると思うのですが、どのような方法になるのかということはまだ具体

策は出ておりません。意見として防災の方へ上げさせて頂きたいと思います。

松島議長 はい、ありがとうございます。

奥野委員 防災無線が聞こえない区があるということで広報車を出すということではできないのでしょうか。

危機管理 有事の時にですよね。検討はしております。

担当副参事

奥野委員 それがなかったら独居老人の方々をフォローすることが難しいのでは。

危機管理 広報車には移動無線機が搭載されておりますし拡声器が付いているのも1台あります。

担当副参事

松島議長 ほかにご意見ございませんか。ないようですので次の議題第2の地域かがやきプログラム事業について事務局より説明をお願いいたします。

事務局 お手もとの資料、平成23年度東部エリア(香良洲地域)地域かがやきプログラム事業実績(2月末現在)をご覧ください。事業はすべて終了しておりますが、事業実績報告の提出と確定がなされておられない事業につきましては、決算額をグレーの網掛けで示させていただいております。現在、それぞれの実施団体で準備をしていただいておりますので、ご了承をお願いします。

それでは、事業名、決算額、決算予定額、実施日、事業内容と参加者数についてご説明させていただきます。ふれあいのかおり事業、決算額 3,040,000 円、実施日 5月22日、海岸清掃、ステージイベント、特産品コーナー、潮干狩りコーナーを設け地域の特性を生かした催し物、体験等を通じ人と人、人と自然のふれあいを図ることができ地域の活性化に努めることができました。参加者数 2,500 人でした。パターゴルフ大会事業、決算予定額 266,000 円、実施日 7月2日～4日、9月24日～25日、3月4日、年3回パターゴルフ大会を開催し、個人戦、団体戦を行いました。香良洲地域体育祭事業、決算額 660,000 円、実施日 10月16日、各種団体の競技、幼児の遊戯、小・中学生の競技を中心に幅広い年齢層の方が参加し実施することができました。参加者数 900 人でした。宮踊り事業、決算額 2,900,000 円、実施日 8月15日～16日、町内の4地区が香良洲神社の氏神に豊漁豊作を祈願する奉納踊りを実施しました。参加者及び来場者数延べ 5,000 人でした。獅子舞事業、決算予定額 120,000 円、実施日 8月1日～3月5日、10月9日津まつり出演、元旦馬場区内悪魔払いかど舞を実施、1月2日馬場区民会館で厄払い行事を実施しました。参加者数 110 人でした。ユニバーサルデザインまちづくりの会、委託事業の決算予定額 150,000 円、実施日 5月11日～3月31日、ユニバーサルデザインの普及啓発活動としてチラシの全戸配布をシリーズ 7 回実施し

ました。企業・学校・県、市職員の研修、講座を開催し疑似体験を通してユニバーサルデザインの理解を深めます。ユニバーサルデザインまちづくりの会直営事業の決算額 383,869 円、実施日 12 月 7 日～12 月 31 日、妊婦体験用モデル等展示、貸出用UD体験グッズを購入しました。また、ユニバーサルデザインのまちづくり啓発看板を作製しサンデルタ香良洲パターゴルフ場前に設置しました。

香良洲ふるさと愛事業、決算額 85,000 円、実施日 4 月 19 日～8 月 18 日、香良洲小学校の児童が梨の受粉作業、摘果作業、袋かけ及びフェロモン剤つけ作業、誘引作業、収穫体験、除草作業の体験学習を行いました。参加者数 240 人でした。

続きまして、平成 24 年度の香良洲地域かがやきプログラム事業の概要をご覧ください。事業名および予定されております事業内容についてご説明させていただきます。ふれあいのかおり事業、海岸清掃、来場者全員の協力により海岸清掃を行い環境問題の啓発を行います。ステージイベントでは、芸能ショー、町内サークルによる発表会を行います。特産品コーナーでは、香良洲町内及び企業における特産品の販売を行います。地震体験コーナーでは、来場者に防災意識を高めていただきます。潮干狩りコーナーでは、海岸にコーナーを設け海の町ならではの体験をしていただきます。パターゴルフ大会事業、年 2 回パターゴルフ大会を開催し個人戦、団体戦を行います。地域体育祭事業、運動会的なイベントとして開催します。園児から高齢者までが各団体に種目を考えてイベント型体育祭を実施します。宮踊り事業では、町内 4 区が香良洲神社の氏神に豊漁豊作を祈願する奉納踊りが 8 月 15 日の夜から 16 日の朝にかけて行われます。踊りの歌本は、歴史を素材にした郷土色豊かなものが多く、各区の奉納は三踊りと決められており、踊り方に違いがあります。獅子舞事業、獅子舞の伝承と普及、記録活動の実施及び資材、資料の保存と修理を行います。元旦に香良洲神社を始まりに馬場区内各戸を廻り悪魔払い、かど舞を行います。1 月 2 日に馬場区民会館で厄払い行事が実施されます。ユニバーサルデザインまちづくり事業につきましては、地域内においてユニバーサルデザインの普及啓発活動を行います。学校、企業、地域で車椅子、高齢者、アイマスク、妊婦などの疑似体験を通してユニバーサルデザインの理解を深めます。また、行政や社会福祉協議会が行う事業に参加し協力して広く市民の方々に対して普及を図り、ボランティア連絡協議会や他団体が行う行事に協働して普及啓発を図っていきます。展示、貸出用UDグッズを購入し、地域内にはUD啓発看板を設置します。

平成24年度につきましては、香良洲ふるさと愛事業につきましては、事業そのものは継続されますが、実施団体からJA一志東部農協の補助金を使って事業内容は同等のもので行っていくとの報告をうけておりますので、地域かがやきプログラム事業としては23年度をもちまして終了させていただきます。続きまして次の資料ですが、第2回審議会におきまして、ご審議いただきました平成22年度地域かがやきプログラム事業評価シートですが、皆さんのご意見をまとめさせていただき、香良洲地区地域審議会の評価として提出させていただきましたものを配布させていただいております。後日ご確認をお願いします。報告は以上でございます。

松島議長 はい、ありがとうございます。

只今説明にありましたが、この平成22年度地域かがやきプログラム事業評価シートというものは、前回の審議会で評価させていただいたものですが、あらためて持って帰って頂いて御覧ください。只今の説明に対しまして何かご質問があればお受けいたします。

太田委員 24年度の事業ですが、日程はまだ決まっていないのですか。決まっているものがあれば教えてください。ほかの会議で話をさせていただきましたが、昨年のふれあいのかおりの海岸清掃は大丈夫でしたが、その後台風のあとで木が散らばっている状態です。それをどのようなかたちでふれあいのかおりで行っていくのかお聞かせください。

松島議長 只今の太田委員の質問に対しまして事務局どうですか。

環境担当副参事 ふれあいのかおりは、今年は4月22日に観光業共同組合及び観光協会の方からなるべく連休前までに人が集まる前までに香良洲の潮干狩りを啓発できるようにして欲しいということで実行委員会の中で決定されました。海岸のことについては、県の方へ依頼をして一応掃除はするという回答を頂いております。4月22日までにしていただきたいとお話はしてあるのですが、4月になってからということをお聞かしております。ふれあいのかおりに間に合ってくるとよろしいのですが、海岸の掃除をしていただくことは確かですが、いつということはまだ決まっておりません。

松島議長 それ以外の日程ということについてはどうですか。

地域振興課長 その他の日程についてはそれぞれの実施団体があり、まだ決定をされていません。この中で、宮踊りについては例年通り8月15日ということは伺っております。

松島議長 はい、ありがとうございます。ほかに何かございせんか。それでは、他に意見もない

ようですので議題3その他に移ります。事務局お願いいたします。

地域振興
課長

事務局としては格別ございませんが、お手元に配布させていただいてありますユニバーサルデザインの資料がございます。内容について木下委員の方からご説明をいただければと思います。

木下委員

ユニバーサルデザインの活動と合わせてアンケートについてご説明させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。ユニバーサルデザインのちらし「シリーズ1～7」ですが、先ほど事務局からご案内がありましたように、今年度広報津と同時に7回配布をさせていただきました。本年度は、ユニバーサルデザインの活動のなかでも安心安全なまちづくり、防災、3.11の地震があったことでこれまで消防団はじめ関係者の方々がいろいろやってくさっていますが、地域住民の意識が伴っていない、正直無かったと思います。今回ばかりはようやくこれはだめだなと思ってくださる方が増えてきております。ということで防災の方に視点をおきまして配布をさせていただきました。全戸配布をさせていただきましたが再度ご案内をさせていただきます。1～4までは基礎的な考えをご案内させていただきました。その後5～7で防災に関わることで力を入れさせていただきました。あまり多くの情報を書いても読んでいただけないので最近言われている香良洲の中で気になる点、5～7をご覧ください。シリーズ5は、自分の町がどういう状況であるか、すぐ行動に結びつけるということは大事なことで、オオカミ少年だとか三匹の子ぶたなどいろんなたとえを使って講演の中でお話をさせていただいております。関わらせて頂いてわかったことですが、これだけ言われているに関わらず、家族間の連携がとれていなかったり逃げる場所を知らなかったり耐震が進んでいなかったり、先ほどの防災無線の話とおなじことですが何度も何度も言っていないといけない。よく知っている人には、またかとうっとおしごられるかもしれないが一人でも漏れが無いようにしていくことが大事です。シリーズ6回のところでは、ユニバーサルデザインの事業で看板を作りました。香良洲かわら版にもご案内がありましたが、パターゴルフ場でご覧頂いたかと思います。香良洲の場合は地震もそうですが、水害について年配の方から聞いてみると、水ということに意識が高い。昭和28年の様子の看板を作製しまして皆さんに再度意識をもつていただくということでご案内をさせていただきました。合併してから人間関係が気薄になってきたという話がありますが他の地域に比べると地域間の連携は良くも悪くも強いと思います。その強さを活かさせていただきたい。ということで自分の住んでいる町の良さとか弱点を再認識していただいて、いい意味でお互いに良いおせっかいをしていただきたいと思います。最後に要求

型の住民ではなく自分たちでやることはまずやろう、自分たちの命は自分で守る、行政の方から自分たちの命は自分たちで守りなさいと言われると腹が立ちますが、自分のいのちを守り隣近所を守るのもお互い様という感じで助け合いをしていく必要性を感じました。一番衝撃をうけたのは、消防の香良洲方面団団長の松島会長の今までやってきた経験から、高齢の方は自分はいつ死んでも良いと言われる。簡単にそういうことを言われるが消防団は放ってはいけないのですよ。ということで、あなたが自分の命を守るということは、民生のなかとか消防団の命もひきうけていることだから、安易にそういうことは言うべきことではないとお話をさせていただきました。そうすると「なるほど」ということになってきます。私たちは自分の命を守るということは人の命に関わってくるということを感じてくる必要があると思ひまして、2月4日のボランティア研修会に消防団の方々、自治会さんにも支所を通じてご参加をしていただき、地域もボランティアはボランティアだけ、婦人会は婦人会だけ、自治会は自治会だけそういうかたちでやってきていましたが、今回いろんな方々にご協力をいただいて60人前後研修会に参加していただきまして、たいしたことはできませんが研修を通してアンケートで非常に良かったというお話をいただきました。もちろん全員が賛成というのは無理ですが多くの方がこれは必要であると言ってくださいましたので、出来ることを消防団の方や自治会にご協力をしていただいたりして一般的に弱者といわれている方々も我々の仲間としてやれることをやっていきたいと思ひます。どんな意見がでたのかアンケートも読んでいただきたいと思ひます。チラシのシリーズの方も来年度もつづけますが、こんなことを掲載していただきたいということがありましたらご意見をいただき今後ともご協力をお願いしたいと思ひます。

松島議長

はい、ありがとうございます。木下さんからご説明がありましたが、この地域は自分たちでが原則でございますが、その中でも災害弱者をどうするか、消防団員はどうするか。消防団員のなかで話し合いをし、行政の中で防災に関わっている職員、消防職員は一般の市民と同じような危険からの回避はできないだろうと思われまますので、有事の際の消防団員の動きについて初動体制について団員全員で話し合いました。グループ間でいろいろな災害を想定していただいてその想定の中で消防団員として出来る行動、これ以上は出来ない行動、団員の命に関わる行動とかいろんな意見が出てきていま集約中でございます。継続して行って他団体との流れとか、民生委員、ボランティアの方々、消防団員そして行政職員の皆さんで横の連携もその中から生じてくれば初動体制がスムーズに出来るのではないかとということをおまえまして消防団としても考えてお

ります。横の連携といえは行政の方からも横の連携がとれるように考えていかなければと協力的なお話を支所長からもしていただいております。行政と相談をして地域住民の安全、安心を守るという観点からおきましてもう一步ふみこんだ親切なかたちまでもっていければと考えております。ほかに何かご意見ございませんか。木下さんの意見に対しまして行政の方から何かございませんか。あれば一言お願いしたいと思ひます。

地域振興課長 私も個人的にサンデルタで木下さんが高齢者の方に対しこういうような方法がありますよと説明をされている姿をおみかけしたことがあります。人に接して1つ1つを伝えていくということが大切なことであると感じました。

松島議長 はい、ありがとうございます。良い方向と感じて頂いたことはかたちとして頂きたいと思ひます。

木下委員 何処で聞いて頂いたのかわかりませんが、私も依存体質がありまして、総合支所へいっては、こうしてくださいという姿勢がありました。ところが組織が大きくなるとなかなか動いて頂けません。これも実感としてありまして災害はいつくるかわからないが、人は明日来るとは思ひていません。が3.11は良い機会であって人に頼ってはいけなひ、私自身もめげてくるしもともとおせっかいなところがあつて、言つていと時間はかかるものの、1人1人に話すと行動をおこしてくれます。行政としてやつていただくことがあります、細かいところでおせっかいをしていくのは隣近所だと思ひます。我々の命は消防団にもかかわる、だから自分は死んでもいいという安易なことは言えない。だから周りの人におせっかいをしていかなければいけなひと思ひています。

松島議長 はい、ほかにございませんか。

危機管理担当副参事 この場をおかりしましてお願いしします。昨日本庁の方から3.11犠牲者に対して黙とうをお願いするという通達がありました。3月11日日曜日、午後2時46分に黙とうをお願いしします。

松島議長 そういうことですので、皆さん黙とうをお願いしします。消防団は当日三重県消防大会で黙とうをする計画となつています。ほかにご意見ございませんか。

木下委員 香良洲口へ行く橋はどのくらいまで進んでいるのでしょうか。

支所長 香良洲橋の架け替えは地元住民のみなさんが切望されているものですが、県のほうとして今ルート選定をして、これは以前にもお話をさせていたしておりますが、ルート選定のための概略設計作業及び、一級河川の雲出川に県道の香良洲橋が架かりますので国と県との協議を進めているという話を聞いております。

市川委員 ルートの選定には入っているが、場所については、仮橋を造つて現在の橋を

壊してそれから新橋を造るといって20億円のお金も日にちもかかる。新たな場所に架け替える方が費用面で効果があると考えられている。場所等については、地元の意見を聞くことになるので総合支所へ連絡します。とのこと。

支所長 ルート選定ということですね。ルート選定をするということは聞いておりますので、香良洲の連合自治会からの要望ということで津市の自治会連合会のほうへ上げて、三重県自治会を通じて三重県へ要望としております。そのことを今、市川委員さんが説明をされましたので、県からの回答として今お話をされました。一番新しい情報が自治会長さんからありました。

松島議長 日にち等はまだ具体的にはわからないのですか。

市川委員 大至急することは決まっております。が予算的な事もありますので。

松島議長 他にございませんか。それと同時に自治会長さんもお見えになりますので、地域の自主防災組織について、独立した自主防災組織になるようにお力添えをいただきたいと思います。

木下委員 それに伴いまして、これから決まってくると思いますが、避難経路についてですが、ボランティア研修の時ですが、中学校、小学校の先生もご参加いただきました。一番安全だと言われている香海中学校の生徒は外へ避難していくという避難経路、避難手順についてですが昼間おきると限りません。そういうこともあっていろんな大きなことを動かしていかなければなりません。橋も避難経路の1つです。香海中学校から雲出川をおりて1回橋を渡り、上流でもう一度橋を渡る、2重に行くという非常に大変な避難経路があるようですし、進めて頂くところは早く進めて頂きたいと思います。マグニチュード9がくると雲出川に架かっている橋も安全ではないと聞きます。時は待つてはくれないのかなと思います。

市川委員 新しい橋の耐震は調べますと言ってみえました。

松島議長 はい、ありがとうございます。マグニチュードが1違うと32倍のエネルギーとなる。想定できない大きさになるということですのでどうぞ、よろしく願いいたします。今まで想定外ということでしたが想定の中へ入れていただいで香良洲住民が安全な避難経路を確保できるようにしていただきたいと思います。ほかに何かございませんか。それでは、他に意見もないようですし、今日予定をしておりました議題は全て審議いたしましたので、これをもちまして第3回香良洲地区地域審議会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。

平成24年3月9日

香良洲地区地域審議会

署名委員 _____

署名委員 _____